

# orban

# OPTIMOD-AM 9300

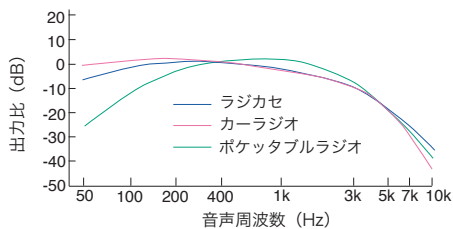
# Sound Performance



OPTIMOD-AM9300はポケットラジオ、ラジカセ、カーオーディオ等のAM放送受信機の音質を改良し、早朝から深夜まで過変調防止と平均レベルを揃え、音量増大を実現するプリエンファシス+マルチバンドリミッターです。

国内では、1982年に南海放送様(愛媛県)が第一号機を運用開始いたしました。その採用効果はすばらしく、音質の改善と平均変調度の向上に高評を頂き、瞬く間に民間放送局すべての局に採用されました。

OPTIMOD-AMの動作原理は、ダイナミックプリエンファシスにより中域だけの音質に低音と高音が増強されて極めて良い音を造り出すことです。



受信機のF特性が3kHz付近より高い周波数で急激に下降していることから、音質改善のために送信側で受信機の特性を補完するプリエンファシスをかけた音声を送信します。(一般的には静特性上100Hzで+2~5dB、6kHzで+8~15dBの上昇カーブを持たせますが、ダイナミックプリエンファシスと無歪みクリッパーのため過変調になることはありません。)またAM放送の特性上、広いダイナミックレンジがとれないため、放送音声を持ち上げてから50Hz~9kHzまでの間を5バンドに分割し、各バンドにリミッターをかけて100%変調限界まで大きくしています。その結果、ノイズの多い場所での受信や車内などの騒音に負けない放送が可能になります。また、音声が平均的に大きくなることで、今まで音量の小さかった遠距離地域での受信が聞き易くなり、送信機の送信出力を増力することなく聴取エリアの拡大を実現します。

- ・コンパクトなEIA 1Uサイズ
- ・調整、設定は液晶画面とロータリーエンコーダーで数値による対話形式
- ・運用時は、入力/出力/AGC/GRメーターが常時点灯
- ・PCソフトウェア付属 PCコントロールおよびリモートが可能
- ・内蔵オシレーターにより(調整用)100%変調出力が可能

## Specifications

アナログ入力	XL-3-31タイプ 2Pinホット(L・R・L+R選択可能) 600Ωバランス -8~+24dBm
アナログ出力	XL-3-32タイプ 2Pinホット(モノラル) 356Ω以下 600Ω適合 0~+16dBm 2系統出力装備
デジタル入力	XL-3-31タイプ AES/EBU 基準 32, 44.1, 48kHz自動選択
デジタル出力	XL-3-32タイプ AES/EBU 基準 32, 44.1, 48kHz 入力同期または固定
遅延時間	5m/Sec (入出力ディレイ)
ローパスフィルター	9.5kHzより4kHzまで0.5kHzステップ可変
リミッター	AGC+5バンドリミッター+無歪みクリッパー搭載
トランスミッタEQ	送信所設置時に有効な調整方法を搭載
シリアルI/F	LAN/RS-232Cインターフェース、IBM-PC互換機
リモートI/F	8オプトアイソレート コネクターD-Sub25Pin
電源	100V~240V ±10% 50/60Hz
消費電力	30VA
動作環境	温度0~50℃ 湿度0~95%(非結露)
寸法/重量	483W×44H×362Dmm 8.4kg
オプション	モニターロールオフ(MRF023)



**OTARITEC**

オタリテック株式会社

〒167-0052 東京都杉並区南荻窪4-29-18 TEL 03-3332-3211 FAX 03-3332-3214

www.otaritec.co.jp